



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月15日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川栄胤
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052) 222-8202
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	658	79.8	51	-	53	-	33	12.8
27年3月期第3四半期	366	-	△51	-	△48	-	29	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.68	-
27年3月期第3四半期	0.60	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,627	4,246	91.8
27年3月期	4,663	4,213	90.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,246百万円 27年3月期 4,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	-	-	0.00	0.00
28年3月期	-	-	-		
28年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	739	53.8	47	-	50	-	29	△49.2	0.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期3Q	49,243,000株	27年3月期	49,243,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	43,454株	27年3月期	42,925株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期3Q	49,199,758株	27年3月期3Q	49,201,744株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、景気が緩やかに回復基調で推移したものの、中国経済の急激な減速をはじめとして世界経済の下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われます。

レジャー業界においては旅行業界が徐々に回復が進んでいるのと比較すると、興行業界は未だ回復が進んでおらず依然厳しい環境が続いています。また、個人消費につきましては、生活の質と充実感を求め、お客様の選別の目が段々と厳しくなっています。

そのような中、当社は平成27年4月には中日劇場と共催による「中日劇場四月花形歌舞伎」、6月には当社主催「香西かおりコンサート」、10月には恒例となりました金山の日本特殊陶業市民会館における歌舞伎公演「錦秋名古屋顔見世」を上演しました。また、中日劇場への各種公演の販売協力を行いました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高6億5千8百万円(前年同期比79.8%増)となりました。利益面では、営業利益5千1百万円(前年同期は営業損失5千1百万円)、経常利益5千3百万円(前年同期は経常損失4千8百万円)、四半期純利益3千3百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、45億7千2百万円となり、前事業年度末に比べ3千4百万円の減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が9億3千7百万円増加したものの、未収入金が9億9千3百万円減少したものであります。固定資産の残高は、5千4百万円となり、前事業年度末に比べ1百万円の減少となりました。この主な要因は、リース資産が1百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、46億2千7百万円となり、前事業年度末に比べ3千5百万円の減少となりました。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、6千7百万円となり、前事業年度末に比べ6千1百万円の減少となりました。この主な要因は、預り金が4千6百万円、買掛金が2千7百万円、前受金が1千3百万円減少したものの、訴訟損失引当金が2千万円増加したことによるものであります。固定負債の残高は、3億1千3百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円の減少となりました。この主な要因は、繰延税金負債が7百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、3億8千万円となり、前事業年度末に比べ6千9百万円の減少となりました。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、42億4千6百万円となり、前事業年度末に比べ3千3百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が3千3百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は本日業績予想を修正しております。詳細は本日公表いたしました「業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,582,831	4,520,016
売掛金	4,676	13,769
貯蔵品	718	719
未収入金	1,000,000	6,089
その他	21,614	34,150
貸倒引当金	△2,482	△2,112
流動資産合計	4,607,358	4,572,632
固定資産		
有形固定資産		
建物	447	387
土地	1,129	1,129
リース資産	1,809	723
有形固定資産合計	3,386	2,240
無形固定資産		
投資その他の資産	98	92
投資有価証券	44,085	43,508
その他	8,243	8,722
投資その他の資産合計	52,328	52,230
固定資産合計	55,812	54,564
資産合計	4,663,171	4,627,196
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,223	23,793
未払法人税等	8,025	6,157
前受金	13,652	-
訴訟損失引当金	-	20,928
預り金	49,154	2,381
その他	6,875	14,142
流動負債合計	128,931	67,403
固定負債		
リース債務	426	-
繰延税金負債	297,858	290,310
退職給付引当金	22,332	22,726
固定負債合計	320,618	313,037
負債合計	449,549	380,440

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,121,437	2,121,437
資本剰余金	1,987,121	1,987,121
利益剰余金	128,655	161,996
自己株式	△35,124	△35,336
株主資本合計	4,202,090	4,235,219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,532	11,536
評価・換算差額等合計	11,532	11,536
純資産合計	4,213,622	4,246,756
負債純資産合計	4,663,171	4,627,196

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	366,346	658,637
売上原価	338,905	528,891
売上総利益	27,441	129,746
販売費及び一般管理費	79,203	78,617
営業利益又は営業損失(△)	△51,761	51,128
営業外収益		
受取利息	866	795
受取配当金	1,500	1,312
その他	1,097	444
営業外収益合計	3,464	2,552
営業外費用		
支払利息	158	56
その他	226	18
営業外費用合計	385	75
経常利益又は経常損失(△)	△48,682	53,605
特別利益		
関係会社清算益	79,687	-
特別利益合計	79,687	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	451
訴訟損失引当金繰入額	-	20,928
その他	-	1,663
特別損失合計	-	23,043
税引前四半期純利益	31,005	30,562
法人税、住民税及び事業税	1,454	4,640
法人税等調整額	-	△7,419
法人税等合計	1,454	△2,778
四半期純利益	29,550	33,341

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。